

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	電装構造		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年後期	月曜日	3・4時限あるいは5・6時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	清末 裕貴（副：野尻 裕朗）		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組み立てなど自動車整備士としての経験を活かし、整備をする上で必要となる電装品の知識について講義する。		
授業の目的	自動車に装着されている電装品の構造・機能及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	①二級ガソリン自動車エンジン編（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②三級自動車シャシ（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	バッテリー 三級内容の復習	三級内容（概要、構造・機能）の復習	①P74
第2回	バッテリー 機能、整備	バッテリーの機能（特製曲線）等、バッテリーの整備について解説する。	①P74～P78
第3回	始動装置 三級内容の復習	三級内容（概要、構造・機能）の復習	①P79
第4回	始動装置 機能、整備	始動装置の機能（スタータ出力特性）等、始動装置の整備について解説する。	①P80～86
第5回	充電装置 三級内容の復習	三級内容（概要、構造・機能）の復習	①P87
第6回	充電装置 機能、整備	充電装置の機能（整流）等、充電装置の整備について解説する。	①P88～91
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	充電装置 機能、整備	充電装置の機能（整流）等、充電装置の整備について解説する。	①P92～97
第8回	点火装置 三級内容の復習	三級内容（概要、構造・機能）の復習	①P98
第9回	点火装置 機能、整備	点火装置の機能（着火性能）等、点火装置の整備について解説する。	①P98～103
第10回	ホーン、ワイパ及びウォッシュャ 概要、構造、機能	ホーン、ワイパ及びウォッシュャの概要、構造、機能について解説する。	②P204～208

第 11 回	冷暖房装置 概要、構造	冷暖房装置の概要、各部品の名前に ついて解説する。	②P210～211
第 12 回	冷暖房装置 構造、機能 ノート提出	冷暖房装置の各部品の構造と 役割について解説する。	②P211～212
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆 記試験	
到達目標	二級自動車の教科書を基とした、各電気装置の構造・機能、各装置の性能・制御を修得する。 三級自動車の教科書を基としたホーン、ワイパ、冷暖房装置の概要・構造・機能を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験 並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする 整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって 評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、 成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		